

No. 09 三陸復興国立公園蕪島エントランス整備事業の推進

蕪島地区整備測量・設計業務委託（基本設計）の概要

1 全体

基本的に整備方針に準じ、既設の施設で利用できるものは、そのまま利用する。また、公園空間と漁港空間を築山により区分する。

2 道路・園路

整備方針と同様に、歩道及びプロムナード園路は土舗装とし、車道はアスファルト舗装とする。歩道は海を眺めることができるよう、蕪島海浜公園の園路と同等の高さの区間を設けることとする。

3 雨水排水

歩道、蕪島前広場、築山の雨水排水については、既設の排水施設を撤去することから、自由勾配側溝及びL型側溝を新設し、既存の流末（蕪島西側護岸又は南側護岸）に接続排水する。

4 汚水排水

汚水排水については、既設下水道が蕪島駐車場までしか整備されておらず、休憩所兼観光案内所から既設下水道までマンホールポンプにより接続する。

5 給水

給水については、蕪島前広場まで本管が整備されていることから、本管から分岐して休憩所兼観光案内所に接続する。

6 電気設備

電気設備については、地中埋設によって配管・配線する。照明灯については、最低限の照度を確保する配置計画とする。

7 休憩所兼観光案内所

休憩所兼観光案内所については、以下の施設を設けることとする。

①休憩スペース

来館者（漁業者、観光客等）が休憩できるスペース

②自然観察スペース

ウミネコに悪影響を与えずに、間近に生態を観察できるスペース

③倉庫

施設運営に必要な機材・備品等を保管するスペース

④便所

休憩所兼観光案内所として必要最低限な便器数（男3、女2、多目的1）とする

【質問No. 36の関係資料】

八戸市観光PR用DVDについて

■概要

ナビゲーターに女優・中園友乃氏を迎え、プロのナレーションも入れ旅番組風の仕立てで包括的に八戸市を紹介している。

納品： DVD 500枚（複製不可）、マスターDVD 1枚（複製可）

委託業者： 株式会社東北博報堂 青森支社（コンペ実施後の随意契約）

撮影時期： 平成23年7月から平成24年11月

■構成

30分と15分バージョンを基本コンテンツとし、自然、歴史・文化、食、祭り、田舎体験というテーマに沿って紹介している。

また、各テーマ別に5分以内のショートバージョンも作成しており、キャンペーン等での多様な使用を想定した設計となっている。

■入手方法

八戸市観光課にて貸出しを行っている。

■販売

販売はしていない。

## はっち発フィールドミュージアム体験ツアー 平成24年度実績

(八戸観光コンベンション協会実施「八戸あさぐる」の一部)

No.	コース名	利用人数 (人)	開催日
1	市民ガイドの瀬川さんに行く！ ～城下町八戸の歴史を巡り、郷土ランチを食す～	14	6/22,7/16
2	早起き"とくとく"！ ～元気なゼリ市体験と陸奥湊海鮮丼まんぶくツアー～	催行なし	7/13,7/14
3	カメラ片手に大人のプチグル遠足 ～まちなか食べ歩き&撮り歩き～	11	11/17,12/8
4	安藤昌益ゆかりの地を訪ねる街歩き ～安藤昌益没後250年～	5	11/23
5	横丁で見つけるあなただけの隠れ家 ～おしゃれメンズがいるBAR～	21	12/6
6	南郷でいちご一会 夜のいちご狩り 日帰りカップリングバスツアー	40	2/14
7	冬の八戸満喫ツアー！ 幻想的な雪燈籠とえんぶりを見学	15	2/16
8	新酒の楽しみ方と味の違いを蔵元から学ぼう！ ～麴が香る酒蔵巡り～	7	2/18
9	北のコナモンのプチ食べ歩きとえんぶり衣装の着付け体験！	催行なし	2/19
10	横丁探訪ツアー	催行なし	通年
11	八戸市中心街まち歩きツアー	13	通年 (4回実施)
計		126	

## 南郷ツーリズムの推進について

### ◇募集型企画旅行商品の販売（平成24年度）

本事業は、都会の人々の関心が高まりつつある田舎体験という観光メニューを構築するため、里山の自然の恵みが豊かな南郷区の観光資源を発掘し、旅行商品の開発及び造成を促進する南郷ツーリズム開発事業のひとつとして実施しているもの。

○商品名：夏休みの楽しみを先取り！（平成24年6月24日実施）

- ・参加者数：12名
- ・場所：山の楽校
- ・内容：100万本のひまわりの種まき、せんべい焼き体験、まめしとぎ作り体験

○商品名：GO！GO！なんごう！里山トレッキング！（平成24年7月21日実施）

- ・参加者数：6名
- ・場所：島守地区
- ・内容：朝もやの館総合情報館、龍興山神社、つり橋、館のやかたをガイドと一緒に散策しながら、植物や野鳥を観察した。館のやかたにおいて「そばがき」作り体験。

○商品名：もぎたてりんごでカフェ風スイーツ作りin南郷（平成24年11月10日、11月11日実施）

- ・参加者数：2日間計16名
- ・場所：館のやかた
- ・内容：りんご農園でりんごを収穫し、館のやかたにおいて、焼きりんご、アップルパイ作り体験。

○商品名：ほっとビタミンin南郷（平成25年1月12日実施）

- ・参加者数：16名
- ・場所：館のやかた
- ・内容：ほうれん草とオータムポエムの収穫体験、収穫した野菜でピザ作り体験

○商品名：南郷でいちご一会カップリングツアー（平成25年2月14日実施）

- ・参加者数：40人
- ・場所：泉清水いちごハウス
- ・内容：日帰りカップリングパーティーを開催（いちご狩り、石窯焼きピザを提供、雪蛍[雪灯籠]作り体験、参加者記念撮影）

○商品名：冬の八戸満喫ツアー！現像的な雪灯籠とえんぶりを見学（平成25年2月16日実施）

- ・参加者数：15名
- ・場所：朝もやの館総合情報館、グリーンプラザなんごう、山の楽校
- ・内容：えんぶり鑑賞（朝もやの館総合情報館）、3施設を巡り雪灯籠鑑賞

### ◇乗合タクシー（商品名：八戸まちタク）

公益社団法人八戸観光コンベンション協会が販売する定額観光タクシーチケット。

タクシーチケットを購入すると、3回を限度としてタクシーを利用でき、エリア内を巡ることができるもの。コースは、従来からのAコース（旧八戸市西側エリア）、Bコース（旧八戸市東側エリア）、Cコース（旧八戸市全域）に、平成23年度からDコース（南郷区を含む八戸市全域）

が加わり、4コースが設定されている。

- ・Dコースの平成23年度、平成24年度の利用実績なし。

#### ◇南郷区における電動自転車試走会

本試走会は、「三八地域における電動アシスト自転車を用いた観光可能性調査事業」の一環として行われた事業。受託業者である(有)フォルテに、公益社団法人八戸観光コンベンション協会が協力し、実施したもの。

- ・日時：平成24年6月22日13時～16時30分
- ・参加者：10名
- ・場所：南郷区島守地区
- ・内容：朝もやの館を中心とした島守地区を電動アシスト自転車で巡るコース(3km)を試走後、参加者によるディスカッションを行った。
- ・効果：ディスカッションの結果、電動アシスト自転車は体への負担が軽く、年齢に関係なく楽しめるため、南郷区の自転車観光に活用できる可能性が高いという結論に至った。

## 三陸ジオパークについて

### 1 これまでの経緯

- 23年2月  
岩手県において、沿岸エリアを対象とするジオパーク認定を目指し、「いわて三陸ジオパーク推進協議会」を設立。(会長：宮古市長、事務局：岩手県政策地域部地域振興室)
- その後、東日本大震災により、活動を休止。
- 23年9月  
市復興計画に「(仮称)三陸海岸ジオパーク構想の検討」として登載。
- 24年5月  
第5回ジオパーク国際ユネスコ大会(長崎県島原市で開催)で、日本ジオパーク委員会関係者から、「岩手県に止まらず、隣県を含めた“三陸”として取り組んでほしい」「岩手県だけでは三陸にならないのではないか」等の指摘を受け、八戸市及び気仙沼市に意向を確認することとなった。
- 24年5月  
岩手県政策地域部地域振興室から、上記協議会への参画の意向の検討を依頼される。
- 24年8月  
三陸ジオパーク推進協議会に参画することで事務を進めることを事務局に通知
- 24年11月1日  
いわて三陸ジオパーク推進協議会の規約改正・施行により、「三陸ジオパーク推進協議会」発足。  
当市のほか、青森県(総務部生活再建・産業復興局)、階上町及び気仙沼市が加入。
- 25年2月  
八戸工業大学、八戸観光コンベンション協会が三陸ジオパーク推進協議会に加入。

### 2 事業実績

- 24年12月、市町村別研修会「三陸ジオパーク構想 大地のみどころ—モニターツアー調査—」を実施(主催：三陸ジオパーク推進協議会)

### 3 日本ジオパークネットワーク加盟申請について

- テーマ  
悠久の大地と海と共に生きる ～震災の記憶を後世に伝え学ぶ地域～
- サブテーマ(基本方針)
  - ①繰り返される災害に立ち向かい、将来に備える
  - ②地球規模の大地と気候変動の変遷から成り立ちを知り、地球を語る
  - ③豊かな資源と人々の暮らしを再生し、未来を創る
- ジオサイト  
テーマとの関連性、分野やストーリー性を考慮し、市町村域を超えた広範囲のジオサイト(48箇所)を選定